

シンガポール取引所(SGXL)

リスクヘッジ需要が高まる。MSCI 指数関連デリバティブ
 ライセンスの香港への移管の影響は中長期的に緩和へ
 シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2020/6通期は、営業収益が前期比15.7%増、営業利益が同22.7%増、EBITDAが同25.3%増、当期利益が同37.9%増の増収増益だった。
- 新型コロナウイルス感染拡大による金融市場の不確実性増大に対し米欧の投資家からリスクヘッジ目的の24時間取引需要が高まった。
- MSCI指数関連デリバティブ商品ライセンスの香港取引所への移管の影響は、新ライセンス契約締結により中長期的には緩和されよう。

What is the news ?

7/30発表の2020/6通期は、営業収益が前期比15.7%増の10.52億SGD、営業利益が同22.7%増の5.65億SGD、EBITDAが同25.3%増の6.55億SGD、当期利益が同20.6%増の4.71億SGD。年間1株配当も同7%増配の0.32SGDとなった。同社のマルチアセット・プロダクトやサービスを受け入れる海外顧客の増加、および下半期(2H)における新型コロナウイルス感染拡大による経済および金融市場の不確実性の増大により米欧投資家の24時間取引のリスクヘッジ取引需要が高まったことが業績を押し上げた。

セグメント別の営業収益は以下の通り。①債券、および通貨・コモディティに係るデリバティブ事業は、前期比23.3%増の1.71億SGD。そのうち、債券が同1.6%増の1,280万SGD、通貨・コモディティに係るデリバティブが同25.6%増の1.58億SGD。鉄鉱石デリバティブ、および通貨先物の取引枚数が増加した。②現物株式及び株式デリバティブ事業は、同13.7%増の7.59億SGD。そのうち、現物株式が同19.2%増の3.99億SGD、株式デリバティブが同8.1%増の3.60億SGD。現物株式におけるトレーディング・決済、および証券決済・預託管理、株式デリバティブにおける財務・ライセンスその他の増収が貢献した。③時価データ・接続および指数事業は、同18.6%増の1.21億SGD。市場データおよびインデックス関連収入が同38%増、接続に係る収入が同5%増。2020年1月に買収した指数プロバイダーのScientific Beta社が増収に寄与した。

How do we view this ?

5/27に米MSCI社がMSCI指数を基にしたデリバティブ商品のライセンスをSGXから香港取引所に移すと発表。移管の時期は2021年2月までの予定。3QにおけるMSCI指数を基にしたデリバティブ商品取引枚数は、株式デリバティブ取引、通貨先物、およびコモディティ・デリバティブを含めたデリバティブ商品取引の総合計枚数(7,641万枚)に対し15.7%の割合に達する。特にMSCI台湾先物の取引枚数は約700万枚に上る。そのため、2021年以降の収益への短期的な影響は避けられないと見られるが、SGXは今年6月にMSCIとの間で自国の株価指数やシンガポール個別株式銘柄の先物に係る新たなライセンス契約を締結していることもあり、中長期的なマイナスの影響はより緩和されたものになると考えられよう。

また、今年6月にクラウドベースのFX取引プラットフォームを提供するBidFXを完全子会社化。FX取引の拡大への貢献が期待される。

業績推移

※参考レート 1SGD=76.99円

| 事業年度 | 2018/6 | 2019/6 | 2020/6 | 2021/6F | 2022/6F |
|-------------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 営業収益(百万SGD) | 844 | 909 | 1,052 | 1,047 | 1,072 |
| 当期利益(百万SGD) | 363 | 391 | 471 | 431 | 436 |
| EPS(SGD) | 0.34 | 0.36 | 0.44 | 0.40 | 0.41 |
| PER(倍) | 25.03 | 23.64 | 19.34 | 21.06 | 20.96 |
| BPS(SGD) | 1.02 | 1.01 | 1.16 | 1.25 | 1.32 |
| PBR(倍) | 8.34 | 8.43 | 7.34 | 6.81 | 6.45 |
| 配当(SGD) | 0.30 | 0.30 | 0.31 | 0.32 | 0.33 |
| 配当利回り(%) | 3.53 | 3.53 | 3.64 | 3.76 | 3.88 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.32** (予想はBloomberg)
 終値(SGD) **8.51** 2020/8/3

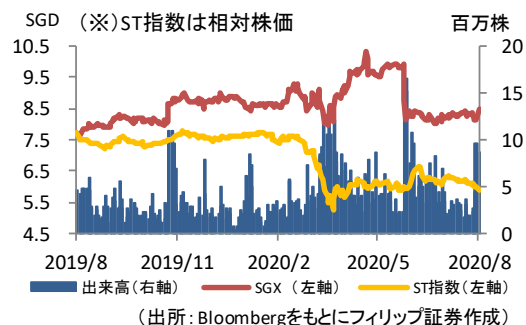
会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の80%が国外で組成されたものであるなど、国際化が進んでいる取引所である。

デリバティブ商品では、アジアの株価指数やコモディティ、通貨を原資産とした商品まで、一連の商品を提供しており、中国、インド、日本、アセアンの株価指数を原資産とした金融商品では、世界で最も流動性が豊富な市場である。

企業データ(2020/8/4)

| | |
|------------------|-------|
| ベータ値 | 0.61 |
| 時価総額(百万SGD) | 9,268 |
| 企業価値=EV(百万SGD) | 8,758 |
| 3ヵ月平均売買代金(百万SGD) | 41.6 |



主要株主(2020/8)

| | |
|------------------------|-------|
| 1.SEL HOLDINGS PTE LTD | 23.39 |
| 2.日本取引所グループ | 3.45 |
| 3.VANGUARD GROUP | 2.37 |

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

シンガポール取引所(SGXL)

2020年8月4日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。